

New Adventures

(発行) 駿河台大学 グローバル教育センター

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 Tel (042) 972-1218

2017 年度

長期留学生募集中!!

Let's Try!!

いよいよ 2017 年度交換・派遣留学生の第 3 回選考が始まります！
対象校に留学を希望する学生は、この機会を逃さずに！

第 3 回選考日

2016 年 11 月 19 日 (土)

応募書類配付期間：2016 年 10 月 17 日 (月) ~ 10 月 28 日 (金)

応募書類受付期間：2016 年 10 月 31 日 (月) ~ 11 月 4 日 (金)

① 応募書類の配付・受付は、
グローバル教育課窓口（第 2 講義棟 5 階）にて行っています。

書類	英語圏	第二外国語圏
志望理由書【指定書式】	○	○
健康調査票【指定書式】	○	○
英語試験スコア証明書	○	×
英文志望理由書 (250 words 程度)	○	×
該当語学の専任教員による推薦書【指定書式】	×	○

② 応募資格は、2 ページで確認してください。
募集要項、各学部が定める応募条件は、グローバル教育課前の掲示板にて発表しています。

INDEX

- P1 選考スケジュール
- P2 2017 年度長期留学募集要項
- P3 留学生へのエール 留学のススメ
- P4 キミはどこ国・大学にする？
長期留学提携校紹介
- P6 私たちの日本留学記
- P8 みんなでサッカー・野球観戦をしてきました！

長期留学募集要領(交換・派遣留学)

長期留学を希望する学生は、グローバル教育センター委員会が実施する

「交換・派遣留学生選考」(書類選考および面接)を受け、合格しなければなりません。

「応募資格」を確認の上、「応募方法」に記載する期間内に、グローバル教育課へ必要書類を提出してください。

みなさんの挑戦をお待ちしています！

応募資格

- Ⅰ 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること。
- Ⅱ 留学の時点で、本学において1年以上就学していること。
面接選考は、留学する前年度に行い、1年次・2年次・3年次生が応募できます。
※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。
- Ⅲ 各学部の定める応募資格を満たしていること。
- Ⅳ 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること。

【英語圏への留学】

大学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP	iBT		
バーミンガム大学	×	×	61	4.0	×
エセックス大学	385	430	39	3.0	×
カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校	385	430	39	×	2級
モナシュ大学	400	×	×	3.5	×

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2014年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2013年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

※TOEFL ITP試験は、Level.1のスコアのみが有効です。

【第二外国語圏への留学】 該当する語学の専任教員からの推薦が必要です。

語学担当専任教員

ドイツ語	明石真和 / 研究室：708E(第二講義棟8階)	小林将輝 / 研究室：708D(第二講義棟8階)
フランス語	山下尚一 / 研究室：708F(第二講義棟8階)	
スペイン語	信岡奈生 / 研究室：709B(第二講義棟9階)	
中国語	葉紅 / 研究室：708H(第二講義棟8階)	
韓国語	朴昌明 / 研究室：1416(本部管理棟4階)	

応募方法

- ① グローバル教育課で応募書類を受け取る。
書類配付期間：10月17日(月)～10月28日(金)
- ② 応募書類を準備する。
- ③ 応募書類を期限内にグローバル教育課へ提出する。
書類配付期間：10月31日(月)～11月4日(金)

提出書類

書類	英語圏	第二外国語圏
留学志望理由書 【大学指定書式】	○	○
健康調査票 【大学指定書式】	○	○
英語試験スコア証明書	○	不要
英文志望理由書 (250words程度)	○	不要
当該語学の専任教員による推薦書 【大学指定書式】	不要	○

応募書類配付・提出場所 グローバル教育課(第二講義棟5階・グローバル教育センター内)

OPEN AM9:00～PM5:00(月～土) TEL 042-972-1218

留学希望者へのエール 留学のススメ

グローバル教育センターの石川真知子助教(英語)は、自身も英語を学ぶために留学した経験を持つほか、駿河台大学に着任する直前までは、オーストラリアで日本人留学生をサポートする仕事にも従事した経験をお持ちです。

留学生としての経験、留学生をサポートする立場の経験、両方の経験を持つ先生に、今回、留学を目指す駿大生に向けて、実りある留學生活にするための秘訣を伺いました。



graduation ceremony

「日本の英会話スクールで1年かけて勉強する分を、留学では3か月で勉強できる。」それぐらい、留学して学ぶ英語は充実していると話してくれた石川先生。「もしかすると、5週間のプログラムでもカバーできてしまうかもしれませんが」とも話すその理由を、こう説明してくれました。

「まず、①時間の問題。日本の英会話スクールでは、どうしても1日1～2時間、週1～2日通えばいい方ですね。留学すると周りはネイティブしかいませんので、四六時中外国語漬け、嫌でも外国語を話さなければなりません。また、②孤独ということも上達する要因です。留學生活で孤独を感じると、「話しかけてみよう!」という気持ちも高まります。最後に、③案外、つたない言葉でも、意思疎通できるとモチベーションが高まるものです。」

「孤独」が、語学を上達させるための重要な要素ということには驚きました。確かに、一人でこれまでと全く異なる環境に身を置くと、孤独感や寂しさを感じることもあるかもしれません。しかし、それがきっかけで、新しい自分を発見したり、自分を変えようというきっかけになったりするのでしょうか。

留学のメリット

- ① 四六時中外国語漬け。嫌でも外国語が伸びる
- ② 孤独もメリットに。孤独を感じるからこそ人に話しかけよう!
- ③ 「伝わった」という気持ちでモチベーション・アップ!

ただ一方で、1年間の留学では、外国語がどのぐらい上達するか分からないもの。それでも留学する意義はあるのでしょうか。石川先生は「ある」と答え、ある日本人男子高校生の話をしてくれました。

「彼とは同じホームステイ先で数週間一緒に過ごしたのですが、まったく英語ができませんでした。でも、彼の偉いところは、毎晩ホストファミリーと接する時間を作るようにしていたところ。英語が話せないので、ホストファミリーが一方向的に話すだけなのですが、彼はいつも笑顔で話を聞いていました。ただそれだけなのですが、別れる時にはホストファミリーも彼自身も号泣でした。」「コミュニケーションには、語学力だけではなく、愛嬌みたいなものも必要です。世界は人の善意であふれていますので、知らない人とコミュニケーションを取って、それに気づくだけでも貴重な体験だと思いますよ。」笑顔で話を聞いているだけで絆が深まるということは不思議な感じもしましたが、日本人なら誰

でもできそうな気がします。海外に友人・知人ができるとコミュニケーションを続けようと思って、語学力が早く上達するかもしれないですね。

コミュニケーションで大切なこと

- ① 語学力&愛嬌
- ② 人の善意を信じる!

外国に行ったら何らかの形で現地の人と接点を持ちたいもの。けれども、待ちの姿勢ではきっかけができません。何かうまい方法がないものか先生に聞いてみました。

「一芸を持っていくことがいいと思います。サッカーができるだけで現地の人と一緒にプレーができますし、空手や柔道、剣道など日本の武道も海外では注目の高い競技です。スポーツだけではなく折り紙なども、コミュニケーションのきっかけになるかもしれません。」「外国に行くのとわかるのですが、日本に興味を持っている人が結構多い。和食の作り方を覚えていけば、寮やホームステイ先で日本食パーティーができるかもしれないし、特にステイ先ではホームパーティーが好きな人も多いので、日本食パーティーをやりたいなんて言ったら喜ばれるかもしれませんね。」

積極的に自分が行動しても、思うような反応や結果が得られないと傷つくこともあるかもしれません。傷つきそうな時にはどうやって立ち直るとよいのでしょうか。

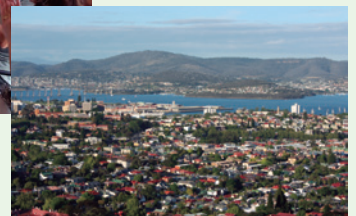
「自分の受け止め方を疑うことも大切です。オーストラリアでは、ステイ先でシャワーは5分と言われることがあるのですが、日本人の学生さんは邪険にされているのでは、とびっくりしてしまうこともよくあります。でも、実はオーストラリアはずっと水不足で悩まされているのです。自分中心に考えるのではなく、背景を知ること相手の意図が分かることがあります。自己完結させないことが大切です。」

コミュニケーションのきっかけは?

- 一芸を持っていく
 - ・スポーツ: サッカー、空手、柔道、剣道
 - ・日本文化: 日本食の作り方、折り紙の折り方など
- 傷つかないためには?**
自分の受け止め方を変えよう!



graduation dinner party



hobart view

長期留学提携校紹介

バーミンガム大学



英国：ウェスト・ミッドランド州バーミンガム
創設：1900年 学生数：約16,700人
留学期間：4月～翌年3月 派遣人数：全学部から若干名（3・4年次生）

日本人のために特に用意されているプログラム。主に3つに分けられる。

① Part 1（4月～6月）
他の非英語圏の学生も含む少人数クラスでの英語（General English）およびコミュニケーション・スキルを学ぶ。

② Part 2（7月～9月）
正規の授業の履修準備としての英語（Pre-sessional English）。ノートテイキングやレポートの書き方も学ぶ。Lectures、Seminars、Cultural visitsも含まれる。

③ Part 3（10月～12月）、Part 4（1月～3月）正規の授業。英語の授業の履修も可。

寮費：£4,831～£6,008 / 年



エセックス大学



英国：エセックス州コルチェスター
創設：1964年 学生数：約12,000人
留学期間：4月～翌年3月 派遣人数：全学部から若干名（2・3・4年次生）

Essex English Language Programme (EELP)

英語の文法と語彙、リーディングとライティング、リスニングとスピーキングについて包括的に学ぶ。プレースメントテストにより、4つのレベル別にクラスが編成される。夏学期（4-6月）、夏休み学期（7-9月）、秋学期（10-12月）、春学期（1-3月）があり、それぞれ10週間。学期末の到達度テストの成績によっては上のクラスに上がることもできる。

寮費（食事なし）：£2,929～£5,370 / 39週間（2015～2016年度）



カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校 (CSUEB)



アメリカ合衆国：カリフォルニア州ヘイワード
創設：1957年 学生数：約15,000人
留学期間：4月～9月/4月～翌年3月 派遣人数：全学部から若干名（2・3・4年次生）

American Language Program (ALP)

「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。

① Intensive English Program (IEP)
週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は一クラス平均15名の少人数制。

【基礎科目】午前中は教室で、6つのレベルに分かれている Writing（週6時間）、Listening / Speaking（週4時間）、Reading / Vocabulary（週4時間）をそれぞれ学ぶ。

【選択科目】午後は、「US American Culture」、「Film and Music」、「California History」、「A Taste of Hospitality」など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。

【Bay Area Experience】担当教員から与えられた課題を5～6人のグループで協力し、Bay Area（サンフランシスコを中心とした地域）の様々な場所で体

験学習する。

② Open University (OU)

通常、正規の学生が履修する一般科目が履修できるようになる。IEPの履修において、アドバイザーの推薦許可が得られるとOUプログラムへ進むことができる。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期で可能となる。

寮費：3ヶ月（3食あり）：US \$3,821 / 学期（2016年度春学期）



モナシュ大学



オーストラリア連邦：ヴィクトリア州メルボルン
創設：1958年 学生数：約65,000人
留学期間：9月～翌年2月 派遣人数：全学部から若干名（2・3・4年次生）

Monash English

5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は1日4時間、週20時間（月～金、8:30～17:15）。内訳は、12時間が一般英語（General English=Core Module）、8時間が選択科目（Specialist Skills Module）。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。各ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre-Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。

寮費（ホームステイ、3食込み）：AU \$7,604 / 半年（2015年度調べ）



ミュンヘン大学



ドイツ語

大学の講義等を受講できる。また、大学附属の「外国人のためのドイツ語コース」を受講できる。国際部のスタッフや教員が単独あるいはグループで各学年のアカデミック・アドバイザーとなりサポートしてくれる。

寮費（食事なし、光熱費込み）：€350 / 月（2016 年度）

ドイツ連邦共和国：バイエルン州ミュンヘン

創設：1472 年 学生数：約 55,000 人（留学生約 5,400 人）

留学期間：4 月～9 月 / 4 月～翌年 3 月 派遣人数：全学部から若干名（2・3・4 年次生）



アンジェ・カトリック大学



フランス語

9 月：1 ヶ月間、夏期コース（フランス語集中講座）を受講。

10 月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて 6 段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。

寮費（休日を除く 2 食付）：€340 / 月

その他食費：約 €235 / 月（2015 年度）

フランス共和国：アンジェ

創設：1875 年 学生数：約 11,000 人 留学期間：9 月～翌年 3 月 / 9 月～翌年 7 月

派遣人数：全学部から若干名（2・3・4 年次生）



サラマンカ大学



スペイン語

外国人を対象とするインターナショナルコースの「スペイン語・文化研修コース」で学ぶ。クラスはスペイン語の実力によって分かれ、1 クラスの人数は最大 15 人、授業時間は 1 日に 3～4 時間（月～金）。

寮費（3 食付き、光熱費込み）：€31.5 / 日（2016 年度）

スペイン王国：サラマンカ

創設：1218 年 学生数：約 30,000 人 留学期間：4 月～9 月 / 9 月～翌年 2 月 / 4 月～翌年 3 月

派遣人数：全学部から若干名（2・3・4 年次生）



聊城大学



中国語

外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。中国語教育センターが設置されており、教員が各学生のアカデミック・アドバイザーとして、留学生をサポートしてくれる。

寮費：交換留学のため、無料

中華人民共和国：山東省聊城市

創設：1974 年 学生数：約 33,000 人 留学期間：4 月～7 月 / 4 月～翌年 3 月

派遣人数：全学部から若干名（2・3・4 年次生）



延世大学



韓国語

交換留学生向けの英語による授業と韓国語学堂が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1 学期に履修登録しなければならない単位数は 9～18 単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学堂の交換留学生対象韓国語学習プログラム（6 単位）が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学カレベル別に授業が行われる。

寮費：SK 国際学舎

●一人部屋：2,642,000 ウォン / 4 か月

●二人部屋：1,785,000 ウォン / 4 か月

国際学舎

●二人部屋：1,456,000 ウォン / 4 か月

大韓民国：ソウル 創設：1885 年 学生数：約 12,000 人

留学期間：3 月～7 月 / 9 月～12 月 / 3 月～12 月 / 9 月～翌年 7 月

派遣人数：全学部から若干名（2・3・4 年次生）



私たちの 日本留学記

2016年4月から半年間、駿河台大学で留学生生活を過ごした
ドイツ・ミュンヘン大学からの交換留学生1名と、
中国・聊城大学からの派遣留学生4名から、半年間の留学生活についての
感想を寄せてもらいました。



留学について

スウ 郭 晓婷

中国 聊城大学
2016年度 派遣留学生
留学期間：2016年4月～9月



チャンスはいつも準備がある人に属するという中国のことわざがあります。日本に留学していることは私にとっていいチャンスだと言ってもいいです。日本語科の学生としての私はまだ1年生の時から日本へ留学に行くために一生懸命日本語を勉強しました。なんだか神様に眷顧されたように日本に留学する夢を叶えました。

知らないうちに日本に来てもう半年ぐらい経ちました。日本に来たばかりの新鮮感はもう慣れてきた生活に溶け込みましたが、記憶の中でまたいくつかの印象に残ったことがあります。

中国と違い、日本は途上国ではなく、先進国です。日本に来て初めてこの身でその発達度を感じました。第一に、日本で電車はとても普遍です。どこでも、いつでも電車に乗ることが出来、本当に便利だと思います。第二に、日本の町を走れば目の前に入るの軒並みの部屋ばかりではなく、自動販売機も多量にあります。私から見れば、自動販売機は人間にと

って非常に使いやすい設計です。ややこしい商売の手続きも省略できれば、いつでも人びとの需要も満足できるからです。第三に、中国は農業大国に対して、日本は主に第3次産業が発展している国です。無論、サービス産業も発達しています。私を驚かせるのは日本人の丹念で、行き届いたサービスです。小さなコンビニにせよ、大きなスーパーにせよ、店を入る限り、必ずいらっしゃいませやありがとうございますなどの言葉遣いが聞こえます。誰でもそのような心を込めた言葉を聞くと、自然に心まで温まります。

ほかのびびりしたことは多く、とても一々言えないほど感じています。小さなことは忘れやすいかも知れませんが、いつでも日本の青空白雲を覚え、親切で優しくしてくれた先生達や友達が忘れられません。日本に留学することを通して、日中両国の異なる文化の雰囲気を感じることができ、忘れられない貴重な思い出と考えます。そして、その思い出はいつまでも大切にしようと思います。

留學生活が人生の
宝物になりました

ソン テンテン 孫 甜甜

中国 聊城大学
2016年度 派遣留学生
留学期間：2016年4月～9月



日本に来てからもう四ヶ月が経ちました。留學生活は短いですがいろいろなことを経験して、日本人の優れた人とたくさん出会って、本当に勉強になりました。嬉しかったです。その中に一番印象に残ったのは、日本人の礼儀ただしさだと思います。

日本に来たばかりの時、電車で空港からもう大学へ来ました。それも初めて日本の電車に乗りました。その時電車の中の静かさに驚きました。電車の中で目を閉じて休んでいた人もいるし、真面目に本を読んでいた人もいました。二人が話しても小さな声で他の人に聞かせないように話していました。電車から降りたら、日本人の友達に電車の中の静かさのことについて聞きました。友達は日本人が他の人に迷惑をかけるように自分の行為を制約しますということを知りました。私から見れば、日本人が真面目に電車の静かさを守って日本人の礼儀を表すに違いないと思います。電車の中は公共の場所であり、一人の空間ではありません。だから、自分のことだけを考えるはいけなくて、周りの人達のこと考えなければなりません。日本人はずっと頭にこのことを憶えて、積極的に実践しています。

日本のある中華料理の店でバイトをしていました。店の中に規定がたくさんあります。例えば、お客様が店に入った時「いらっしゃいませ、何名様ですか」を聞いて、お客様が食べ終わった時「ありがとうございます」を言わなければなりません。最初はそれが頭に入らなくて面倒くさいと思いました。しかし、私は食べ終わったお客様に「ありがとうございます」を言った時「ごちそうさま」と返事してくれました。その時、自分もどうしてか分からないけど、気持ちが良くなりました。おそらく自分の仕事が認められたのだらうと思いました。その後、いつも笑顔でお客様を迎えて送って、辛さもありますが楽しかったです。人と人との付き合いの中に基本的な挨拶が必要です。ありふれた言葉であっても人の心に異なった印象を残して大きな影響をもたらすかもしれません。帰国したら、このバイトの経験を日常生活に生かしたいと思います。礼儀ただし態度によって人と人との間の揉めることを減らせば、社会のムードが融合するようになります。

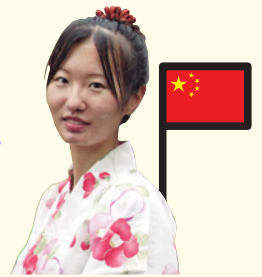
この半年の留學生活は私にとって人生の宝物だと思います。いろいろな人が応援してくれて、今の私があります。本当にありがとうございました。



ラン ムウ

中国 聊城大学
2016年度 派遣留学生
留学期間：2016年4月～9月

半年間の留学生活



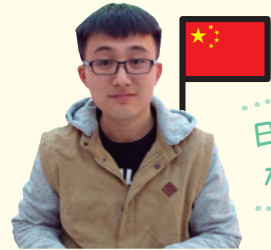
日本に着いた時のことはまだはっきり目の前に浮かびますが、半年間の留学生活がすぐ終わり、惜しくなってきます。今まで育ってきた環境と全く異なる世界に飛び込んで、今まで知らなかった自分を知り、自己成長してきています。人生でおそらく二度と経験しないだろうと思い、振り返れば楽しかった思い出を作るために頑張りました。

この四ヶ月、勉強も遊びも惜しみなく取り組んで、日々変化のある充実した生活を送りました。日本語の先生に優しく、熱心に教えていただいて勉強になりました。そして、先生が配ってくれた資料と教えてくれたものが今後の日本語の勉強に役立つと思います。また、日本文化論という授業で盆行事と武道といったことを勉強し、日本文化を深く理解するようになりました。そして、授業以外、茶道や生け花、ちらし寿司作りといった留学生向けのイベントに参加し、特別な体験

をし、日本文化に触れました。日本の夏の風物詩と言えば、浴衣と花火大会です。この間、先生の指導のもと、自分でも着付けられるように学びながら着付けました。小柄の浴衣がとてきれいで、浴衣着付けもいい経験だと思います。

休みの日はどこかへ遊びに行きました。その中で、湘南、鎌倉の旅はもっとも忘れない思い出になりました。静かな街を走る江ノ電列車に揺られ、長谷駅に着きました。長谷寺のあじさいの美しさと高徳院の大仏の偉さを満喫しました。最後に、江ノ島駅に着き、海辺を散策し、江ノ島で夕日を見ました。その眩しさは一生忘れません。

4ヶ月の生活を振り返ると、美しい思い出ばかりです。様々な人と絶景に出会って良かったです。国に戻り、続けて頑張りたいと思います。



日本での留学生活は かけがえのない思い出です

賈 銘威

中国 聊城大学
2016年度 派遣留学生
留学期間：2016年4月～9月

半年間の留学生活がそろそろ終わります。3月25日から今までの留学生活は本当に素晴らしかったです。この間で作った思い出や経験したことは一生の宝物となり、きっと、将来の役に立つでしょう。9月に帰国する予定で、日本の冬を体験することができなくて、残念です。

私は高校時代から、日本文化に興味を持ち、いつか日本へ行きたいという目標に向けて努力をしてきました。駿河台大学のおかげで、その目標は想像以上に達成できました。ありがたい気持ちは心で伝えられますが、書き表せません。

この4ヶ月、私達の留学生はグローバル教育センターの先生たちに誘っていただいて、様々な活動に参加して、おかげで、充実した留学生活を過ごしました。この間、私自身もいくつか日帰り旅行をしました。もっとも印象に残ったところはやはり鎌倉です。人々に知られる日本の国宝-大仏だと言う

までもなく、江の島の落日は絶景と言っても、過言ではありません。

日本に来る前は、心配もありましたが、空港を出て、親切なサポーターたちと会った途端、心配の気持ちが吹飛んで、留学生活を楽しもうと思いました。

夏休みに入ると、暇が増えてきて、この時間を利用して、日本語力を高めて、もっと、日本文化に触って、自分の目で新たな日本を発見したいと思っています。留学生活はほんとうにあつという間に終わります。まだ帰りたくないという惜しい気持ちは時々胸にあふれます。しかし、みんなと一緒に作った思い出を思うと、ある達成感が自ずから流れて、私が促されて、前へ進みます。

日本での留学生活は私にとってかけがえのない思い出で、将来のより良い自分自身といつまでも繋がります。



半年の留学で 勉強になったこと

ZIMMERMANN, SABINE

ドイツ ミュンヘン大学
2016年度 交換留学生
留学期間：2016年4月～9月



こんにちは、みなさん！ザビーネです。もうすぐ私の留学生活が終わります。半年はやっぱり早く過ぎました！日本に来る前は、もちろん楽しみでしたが、それでも多少だけ心配しました。「私の足りない日本語で本当に大丈夫かな？」とか「日本で友達を見つけれられるか？」という不安な気持ちもありました。しかしみんなのおかげで、とても楽しい時間を過ごしました。わからないことがあったら、あるいは困っているときにいつもグローバル教育センターと日本人の学生から手伝いしてもらいました。私は日本語がまだまだ上手ではありませんが、新しい友達を見つけてよかったです。私はここで日本語だけではなく、日本の文化・社会・普通な生活について沢山勉強できました。相撲試合も野球試合も見に行って、伝統的な日本と現代の日本を経験できました。残念ながら、この半

年留学した時、好きな旅行のためにあまり時間がありませんでした。それはたぶん一つの後悔ですが、絶対にまた日本に来ますから、そのまだ行ったことがない場所を楽しみます。

留学する目的はもちろん、外国語と外国の文化について学ぶことです。しかし、私はここで日本についてだけではなく、自分の国についても沢山学びました。たとえば、日本人と中国人のドイツについてのイメージや私の「ドイツ」の考え方などです。

やっぱり留学することは自分を理解するためにとてもいい経験です。

この大切な経験は駿河台大学のみなさんのおかげです。感謝しております。

みんなで、 サッカー・野球観戦を してきました！



グローバル教育センターでは、
留学生対象のスポーツ観戦ツアーを実施しています！

サッカー観戦

経済経営学科 1年(ベトナム出身)

グー フー タン
VU HUU THANG

6/8(水)にはサッカーの試合
(横浜FC対水戸ホーリーホック)に
6名の留学生が参加しました！



前列左がグー・フー・タン君 左から2番目がグエン選手

初めて集団でサッカーの試合を見に行きました。今度の試合はベトナム人の選手が二人いると聞いてとても興奮し、是非行きたいと先生に言いました。先生が優しく時間と集合場所を教えてくださいました。

6月8日の4時ごろに二つのグループに分かれて横浜に行きました。ここで違うベトナム人の留学生に会っていろいろな話をしました。先輩として勉強の習い方とか学校の生活をどのように送ればいいのかを教えてくださいました。自分のために今から頑張る事、やらなきゃいけない事が分かってきました。また、先生たちと未来のことについて話しました。就職のこととか、旅行に行くつもりなどの場所などについても話しました。私は日本語をペラペラ話せませんが、それでも楽しい時間がありました。電車の中で1時間ほど立って、横浜駅に到着しました。ここからバスに乗ってスタジアムに行きます。スタジアムで信じられないものが見えました。ベトナムの日と書いてあって、ベトナムの人たちは切符売り場の所で仕事をしていました。もっと近くに来て、挨拶をして、あと驚くような事も聞きました。雰囲気楽しくなってきました。最後に記念で写真を撮って先生が切符を買ってくれて、スタジアムに入りました。私はもっと見えるように1番近い席を選びました。試合が始まるまで、先生と写真を撮ってドリンクを買っておきました。試合が始まってから、あれ、あれ??

ベトナム人の選手がない、なんでだろうと考えました。いるはずだと思っていたのに、本当にかっかりしました。しかし、前半が終わってから突然誰かの声が出て、何を言っているかわからないけれど、ちょっと集中したらベトナムの選手の声だとわかりました。その選手は、体調が悪いから、試合に参加する事ができなくて、皆さんに申し訳ないという言葉を送って、皆さんが来てくれて感謝しますと言いました。そのあと担当者が許可をしてくれてベトナムの選手と話することが出来ました。すごく嬉しかったです。写真を撮っているいろいろな話をしました。先生たちに本当に感謝します。試合が終わってから記念プレゼントをもらってみんな一緒に帰りました。

私の記憶にその日の事は今でもまだ残っています。絶対に忘れない、先生たちのおかげで信じられないような事が出来ました。今度このようなイベントがあれば、また行こうと思っています。

※横浜FCにはベトナムの英雄的存在であるグエン トゥアン アイン選手が所属しています。今回は代表戦から帰国した直後だったため、グエン選手がピッチに立つことはありませんでしたが、留学生たちとスタンドで一緒に試合を観戦してくれました。憧れの選手と一緒に観戦できて、留学生たちは非常に喜んでいました！

野球観戦

経済経営学科 2年(中国出身)

ソン キ
孫 暉

7/19(火)には野球の試合
(西武ライオンズ対千葉ロッテマリーンズ)に
15名の留学生が参加しました！

7月19日の火曜日、留学生の皆さんと一緒に西武ライオンズの野球の試合を見に行つた。私は野球のルールについてよく分からないから、行くときは少し心配だった。しかし、私1人ではなく、留学生の皆さんもほぼ野球観戦が初めてであった。自分の家から西武球場まで歩いて僅か10分程度なので、西武球場は私のホームスタジアムと言える。毎日の放課後、西武ドームを見て、いつか野球を見に行くと思っていた。今回も西武ライオンズを応援するつもりで、見に行つた。

野球は、スポーツとして、サッカーやバスケットボールのように激しい運動ではない。選手は大部分の時間であまり動かないから、最初はつまらないと思った。隣に先生がいたので、野球のルールを教えてくださいました。少しずつ野球の魅力を感じた。選手たちは速いストレートボール、満塁ホームラン、いろんな技を見せてくれた。プロ選手の迫力があるプレイを近くで見ることができて、素晴らしかった。実際にボールを打つ音や応援団の声援は、試合中にしか感じられないと思う。3時間の試合を通じて、野球に対

して、多少理解した。しかしながら、最後に西武ライオンズは負けた。ちょっとだけ残念である。

試合中に選手の姿と試合を楽しむのと同時に、他のことも結構面白かった。可愛い女の子が観客席を歩き回って、アイスクリーム、ビール、お茶を販売する時、気になる女の子を呼んで、買い物をするのが楽しかった。今回は一人のASAHIビールの販売員から5杯を買った。その子の売り上げに貢献したことだろう。最後に一緒に写真も撮った。その貴重な瞬間を大事にしたいと思う。

自分の国では、野球はそんなに普及していないスポーツであり、知っている人はそんなにいない。なぜ日本の皆さんが野球を大好きなのかという疑問をずっと持っていた。今回の野球観戦を通じて、やっと理解した。野球の魅力は団体競技なのに、個人対個人の部分もあるし、突然大逆転することもある。まるでドラマのような展開を期待できることが満載のスポーツである。今年の夏休みに国の友達に野球のことを話そうと思っている。



3列目1番左が孫暉君